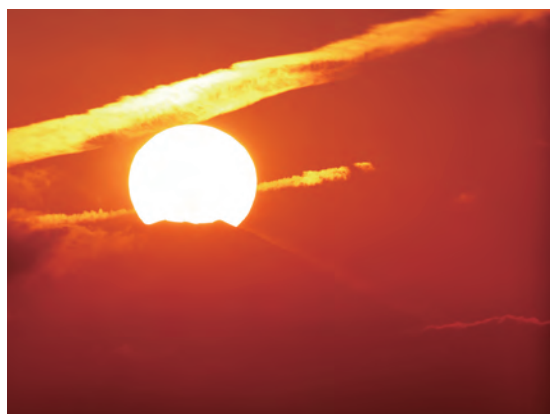




7月25日（土）に、市民自らの手で企画し創り上げた「富津市民花火大会」が開催されました。初めての場所での花火大会。空にも海面にも美しい花火が咲き誇りました。
【撮影 茂木 健一さん（下飯野）】



富津市役所「屋上からのダイヤモンド富士」
写真提供 ウェブサークル「富津写真部」 9月12日撮影

富津絶景²⁵

富津市内には、素晴らしいスポットがあります。こそり独り占めせず、欲びを分けて下さい。皆様のご応募をお待ちしております。
(上記編集先まで)

9月定例会・委員会報告……	2・3P
決算審査特別委員会報告……	4・5P
議決結果……	6P
代表質問……	7P
個人質問……	8～10P
全員協議会……	11P
トピックス、定例会日程……	12P

9月 定例会

◆ 条例

▼ 個人番号制について

国の政策として進めている、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（番号利用法）の施行に伴い、特定個人情報取扱の適正を確保するために、関係する条例の一部を改正するものです。

税や社会保険料の徴収強化の道具に使われ、プライバシー侵害や「なりすまし」の危険性が懸念され、多額の導入費用が見込まれながら、具体的なメリットも費用対効果も示されない等の反対討論がありました。採決の結果、賛成多数で可決しました。

平成27年度9月定例会は、8月28日から9月24日までの28日間で開催されました。議案15件、報告4件、請願1件、陳情1件、発議案2件について審議を行いましたので、その主なものを報告します。

△ 関連条例 △

- 富津市個人情報保護条例
- 富津市情報公開・個人情報保護審査会条例
- 富津市手数料条例

▼ 富津市手数料条例の一部を改正する条例の制定

マイナンバー制度の施行に伴い、通知カード及び個人番号カードの再交付に係る手数料の規定等を整備するため、条例の一部を改正するものです。賛成多数で可決



総務常任委員会

佐久間委員長・岩本副委員長・福原・鈴木・平野(明)・岩崎 各委員

しました。

▼ 不在者投票所の外部立会人について

公職選挙法の一部改正により、不在者投票管理者は不在者投票の公正な実施の確保に努めることとされ、不在者投票管理者からの依頼により選挙管理委員会の任命した外部立会人を投票に立ち会わせる場合、その報酬額を支払う必要があるため、条例の一部を改正するものです。採決の結果、全員の賛成で可決しました。

▼ 財産の無償譲渡について

市が設置した集会所が所期の設置目的を達成したことから、引き続き地元区に有効活用してもらうべく、無償譲渡することについて、全員の賛成で可決しました。

名称 萩生集会所 築日2・3

◆ 補正予算

▼ 一般会計補正予算

一般会計で9356万4千円を



教育福祉常任委員会

渡辺委員長・平野(英)副委員長・藤川・石井・松原 各委員・鈴木議長

追加し、平成27年度の予算総額は156億9356万4千円となります。その主なものは次のとおりです。

歳入

- ・ 分担金（農地災害復旧） 105万円
- ・ 国庫支出金 293万円
- ・ 県支出金 1619万円
- ・ 寄附金（富津公民館トイレ改修） 100万円
- ・ 繰越金 5331万円
- ・ 諸収入（助成金） 1087万円
- ・ 市債 820万円

歳出

- ・人件費 2043万円
- ・扶助費 2566万円
- ・物件費 922万円
- ・災害復旧事業費 300万円
- ・普通建設事業費 2157万円
- ・農作物被害対策費 999万円

▼特別会計補正予算

平成26年度決算の確定に伴い、歳入では繰越金などを、歳出では人事異動に伴う人件費補正などを行い、全員の賛成で可決しました。

国民健康保険事業特別会計

補正額 1億284万円
総額 78億5084万円

後期高齢者医療特別会計

補正額 ▲125万円
総額 4億6474万円

介護保険事業特別会計

補正額 1億3825万円
総額 47億5725万円

◆請願

住宅リフォーム助成制度の創設を求める請願

〔提出者〕千葉土建一般労働組合かずさ支部 執行委員長 山田幹夫

千葉県内で初めて実施した「いすみ市」の取り組みを基本とし、「市内に本店のある法人と個人事業者に特定」し「市民が市内業者に依頼すると、自治体が工事費の10%（最高20万円）を市民に助成する」制度です。

市内業者が施工することにより、市内の経済活性化を促進し、景気対策として効果が期待できます。

富津市におきましても安心・安全なまちづくり、住まいづくりを推進、景気刺激策としても發揮す

るものと思い、お願いいたします。

不採択理由

本請願の市内業者を保護し、地域活性化を促進する事は理解し、評価しますが、現在「富津市木造住宅耐震改修事業」を実施しております。

現行制度は、地震による木造住宅の倒壊等からの被害から市民の生命、財産を守るために施行されたものでありますが、現在までの利用は極めて低く、まずは現行制度の周知、利用拡大に向け知恵を絞り取り組んでいく事が優先であります。

採択することに賛成1、反対1の討論があり、採決の結果、不採択となりました。

◆陳情

安全保障関連法案の廃案を求める意見書を国に提出することを求める陳情

〔提出者〕西かずさ9条の会・富津事務局 丸優子、新日本婦人の会 ふつつ班 班長 八田厚子、全日本年金者組合 君津・富津支部 支部長 松原義昭

この陳情は議会最終日の9月24日時点で既に法として成立しており、法案の廃止を求める段階ではありませんが、審査の過程では「平

和安全」の名とは全く裏腹に、我が国をアメリカが行う戦争に巻き込み、「戦争する国」に作り替えるもので、戦争を放棄した憲法第9条に違反する等の陳情者の願意を聞きました。

採択することに賛成1、反対2の討論があり、採決の結果、不採択となりました。

◆議員発議

市議会会議規則の一部改正

議員が本会議等を欠席する場合、これまで事故による欠席の届け出しかなかったため、女性議員の出産に伴う欠席の扱いに関する規定を整備するため、規則の一部を改正するもので、全員の賛成で可決しました。

市議会議員選出の監査委員報酬をカット

市議会議員から選出された監査委員の報酬を支給しないこととするため、非常勤職員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正するもので、全員の賛成で可決しました。

報酬月額 4万5千円↓0円
施行日 平成27年10月1日から



建設経済常任委員会

永井委員長・平野(政)副委員長・平野(良)・小林・十川 各委員・鈴木議長

◆決算審査特別委員会

平成26年度決算審査特別委員会は9月14日から16日の3日間にわたり鈴木幹雄議長・平野明彦議長選出監査委員を除く15名（欠席1名）で開催されました。初日は決算事業の現地調査、午後からは一般会計歳入について、2日目は一般会計歳出について、3日目は特別会計歳入歳出について質疑が行われました。以下、各議員の質疑の一部を記載致します。

富津市一般会計歳入歳出決算「歳入について」

平野英男議員 個人市民税の滞納者数、返済能力・他の債務（多重債務）の把握は。地方交付税の増額要因は。臨時財政対策債と交付税の関係は。

佐久間勇議員 地方特例交付金の



9月14～16日の3日間開催された「決算審査特別委員会」

減額理由は。財産売却収入の種別と数量・方法は。
福原敏夫議員 土地建物の貸付件数、貸付は契約に基づくか、岬荘は入っているか。

松原和江議員 法人市民税滞納繰越分の均等割・税割の内訳は。臨時財政対策債の年利率の決定方法、年利率は変動制か。

「歳出について」 議会費、総務費

佐久間勇議員 車両管理費30万円の増加理由と車両台数について、保険料の増加について、台数・事故の増加が原因か。

松原和江議員 緊急改革三本柱の成果は「成果」として良いか。人事院勧告に対する市の考え方は。

岩本朗議員 庁舎管理費・光熱費の減額理由は。国際交流事業補助金の増額理由と海外派遣の今後の予定目的と成果は。バス運行関係費の増額の理由と今後の見直しは。徴収関係費・委託料、電算、コンビニ収納の増額理由は。市税等徴収補助員報酬の増額理由は。

平野政博議員 市民が誇れる市の顔づくり関連事業。ふるさと応援寄付関係費。バス運行関係費の負担金の算定方法は。

石井志郎議員 区長報酬の内訳、最少区と最大区の報酬額は、区長報酬は個人収入か、区の規約を定めているか否かを把握しているか、区の会計報告を把握しているか、会計報告を公開していない区が有ると聞かすが市として指導できないか。

藤川正美議員 ふるさとふつつ広

援寄付関係費の印刷製本費と協賛団体数、同団体からの協賛金を除いた金額は。

民生費、衛生費

佐久間勇議員 虐待高齢者保護措置事業費の計上理由と件数は、施設入所者措置事業の成果説明。火葬場運営管理事業について。

岩崎剛久議員 火葬場建設その後の動きについて、事業継続を本郷区にもっと誠意を持って交渉したら良いのでは。

福原敏夫議員 生活保護費の受給、審査方法は、受給者が財産を有する範囲は。

小林新一議員 資源ごみ収集委託料、入札結果によつて契約内容の変更はあったのか、業務の乗車人員が守られていない、契約内容が履行されていない業者を指名入札で指名しない事もあるか。

松原和江議員 公立・私立保育園利用の一人あたり運営費は、放課後児童健全育成事業の予算と決算との差額理由は。

平野良一議員 障害者グループホーム等住居者家賃助成事業・同運営費補助事業の内容は、グループホーム数、入居者の入居状況は。

石井志郎議員 資源等売却き代増額の要因は、ペットボトルの処理等の変更があったのか。

労働費、農林水産業費、 商工費、土木費、災害復旧費

石井志郎議員 有害鳥獣捕獲事業委託料、猿の駆除の現状。市民の森使用料計上理由は。

平野政博議員 観光地魅力アップ

整備事業の看板設置業務委託料の内容と目的は。産地水産業強化施設整備支援事業の経緯と被害状況・復旧状況は。

佐久間勇議員 企業誘致対策関係費から進出企業の固定資産税は。富津花火大会事業費から繰越金の取り扱いは。

松原和江議員 企業誘致対策関係費、今まで奨励金を支出した企業の従業員数は、交付の条件を見直すべきでは。ふれあい公園管理費は市の重荷になっているのでは。

平野英男議員 青年就農給付金事業、準備型か経営開始型か、給付額の内訳、事業の周知方法は。

藤川正美議員 青年就農給付金事業は平成25年が初年度か、制度利用者には立候補か市からの指名か、青年就農者を増やす方針か。

平野政博議員 大貫駅防犯カメラの台数は少なくないか。特定事業の二枚貝増産体制促進事業・沖合貝類資源はいつからの事業か。

石井志郎議員 都市計画マスタープランの進捗状況は。君津富津広域下水道組合負担金と建設事業費の今後、都市計画税の課税方針は。

消防費、教育費、公債費、 諸支出金、予備費

佐久間勇議員 災害特設公衆電話回線用電話機購入の内容、防災行



改修工事が行われた「富津小学校調理場給食搬出入口」



防犯カメラが設置された「大貫駅地下歩道」

政無線設置管理事業、アナログ使用期限は、更新計画とデジタル移行後の子局について。
永井庄一郎議員 内裏塚古墳の用地買収・トイレ設置の予定は、不動産鑑定料の内訳は。
佐久間勇議員 生涯学習バス設置事業、車両の老朽化の現状と更新計画等の考えは。
石井志郎議員 生涯学習バスの運行日数について。公債費の利率の高い地方債借換えの考えは。
松原和江議員 防災無線子局の増設は。小中学校要保護・準要保護数は、給食費、修学旅行費支給の考えは。債務負担行為からバスストップ等マスタープランが完成していないのに計上されている理由は。
歳出総括質疑
佐久間勇議員 退職手当債の平成26年度該当人数は、積算の根拠は。
平野英男議員 今後の財源確保・運営は。総合戦略策定の方針と目玉は。
松原和江議員 退職手当引当金について。
藤川正美議員 一般会計の中で経常経費が少なければ良いが、経常的な事務事業は割合として市ほどの位あるのか。
 質疑終了後、反対討論、賛成討

論が行われ、採決の結果、賛成多数で原案の通り認定すべきものと決しました。
富津市国民健康保険事業 特別会計歳入歳出決算
佐久間勇議員 国庫支出金・特別調整交付金の内容と実施事業は。特定健康診査、保健指導・重症化予防事業の内容は。
松原和江議員 税の収納状況・滞納者数と対応は、短期保険証・資格証明書数は、滞納世帯の状況と職業は。
石井志郎議員 生活保護と医療費負担、国保税と生活保護の関係は。
 質疑終了後、反対討論、賛成討論が行われ、採決の結果、賛成多数で原案の通り認定すべきものと決しました。
富津市後期高齢者医療 特別会計歳入歳出決算
松原和江議員 保険料の徴収、普通徴収・滞納者数は、滞納者へのペナルティは、一年以上の滞納者は資格証か、特別徴収から普通徴収への切り替え条件は。
佐久間勇議員 制度の方法、各種申請や受付方法は、年金特徴の最低年金額は。
 質疑終了後、反対討論が行われ採決の結果、賛成多数で原案の通り認定すべきものと決しました。
富津市介護保険事業 特別会計歳入歳出決算
佐久間勇議員 介護している家族へのケアは、おむつ給付事業は現物支給であるのか。

松原和江議員 認知症家族の会の開催状況は、ショートステイの利用状況は、特養施設の入所状況と待機状況は。
 質疑終了後、討論はなく採決の結果、賛成多数で原案の通り認定すべきものと決しました。
富津市水道事業会計決算
石井志郎議員 未給水地域の今後の事業、老朽管交換や未給水事業などで収入から経費を賄っていかるか。
松原和江議員 資本的支出の計算は、資産があるから計上されるのか。
佐久間勇議員 犬吠増圧ポンプ場の元地目と購入額は、場所選定理由は、圧の変更などはあったのか。
 質疑終了後、討論はなく、採決の結果、賛成多数で原案の通り認定すべきものと決しました。
富津市温泉供給事業 特別会計決算
石井志郎議員 今後の事業継続について、利用者での運営・組合方式もあるが。
 質疑終了後、討論はなく、採決の結果、全員の賛成で原案の通り認定すべきものと決しました。
新設工事が行われた「犬吠増圧ポンプ場」で説明を聞く各委員

▼各会計決算額

会 計 名	予算現額	歳 入 額	歳 出 額	差 引 額	
一 般 会 計	167億7,703万2千円	167億3,142万6千円	160億3,889万5千円	6億9,253万1千円	
特 別 会 計	国民健康保険事業特別会計	72億492万9千円	70億6,178万3千円	69億6,619万3千円	9,558万9千円
	後期高齢者医療特別会計	4億6,100万5千円	4億5,550万5千円	4億5,301万3千円	249万1千円
	介護保険事業特別会計	44億7,984万2千円	44億6,969万6千円	43億3,074万9千円	1億3,894万6千円
	計	289億2,280万8千円	287億1,841万1千円	277億8,885万2千円	9億2,955万9千円
水 道 事 業 会 計	収益的収支	16億4,867万7千円	16億594万8千円	4,272万9千円	
	資本的収支	3億98万6千円	6億1,507万6千円	▲3億1,409万0千円	
温 泉 供 給 事 業 特 別 会 計	収益的収支	122万3千円	243万7千円	▲121万4千円	
	資本的収支	0千円	1万2千円	▲1万2千円	

平成27年9月定例会の議決結果

※議案17件、報告4件、請願1件、陳情1件のうち、賛否が分かれた案件は次の9件でした。

議案等	議決結果	平野英男	平野政博	十川敬三	渡辺務	佐久間勇	松原和江	岩本朗	石井志郎	藤川正美	岩崎剛久	永井庄一郎	平野明彦	福原敏夫	小林新一	平野良一	高梨良勝	鈴木幹雄(議長)	
個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-
職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-
手数料条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-
非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-
財産の無償譲渡	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-
平成27年度一般会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-
平成27年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-
平成27年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-
平成27年度介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-
平成26年度一般会計歳入歳出決算の認定	原案可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-
平成26年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	原案可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-
平成26年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	原案可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-
平成26年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	原案可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-
平成26年度水道事業会計決算の認定	原案可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-
平成26年度温泉供給事業特別会計決算の認定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-
平成26年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告	原案報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
専決処分の報告(3件)	原案報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
住宅リフォーム助成制度の創設を求める請願	原案不採択	●	●	●	○	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	欠	-
安全保障関連法案の廃案を求める意見を国に提出することを求める陳情	原案不採択	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	欠	-
議会会議規則の一部を改正する規則の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-
非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-

議長は、地方自治法の規定により、採決に加わりません。

議案名中の『富津市』及び、『～について』は省略表示しています。

○ = 原案賛成 ● = 原案反対 欠 = 欠席

*会派の代表として行う質問が代表質問になります。
代表質問の時間内(質疑応答で150分)であれば、
同じ会派の人が関連質問をすることができます。

財源確保・道路整備 学校給食及び統廃合

賢政会



永井庄一郎
議員

問 市の財源が厳しい中、市税・国民健康保険税の未納対策は。

市長 市税等徴収対策本部を設置し、県の指導も仰ぎながら滞納処分を実施した。現年度分の未納者対策として、催告書を前倒しで発送し、収納率の向上に努めた。

問 税の課税漏れ対策について。

市民部長 市民税の未申告者は、再度、申告書を送付し改めて申告会場を設けている。固定資産税は航空写真等を利用し、更に職員が評価に赴いた時に確認している。

問 税負担の公平と未納対策は。

市民部長 複数年の滞納者も多くいるので、積極的な滞納整理と滞納処分を行い滞納額の縮減を行う。

問 差押えの種類と金額は。

市民部長 給与・報酬・国税還付



関豊小学校と統合後の環小学校

金・預貯金・生命保険・不動産などで、平成26年度は、3506万5千円の換価金額となっている。

問 道路の整備について。

市長 神明山1号線は用地買収が完了した。工事は県が行うため、重要路線として県に要望している。市道中上線は、現在実施している社会資本整備総合交付金事業の完了後に整備を検討していく。

問 小中学校の給食材料に地産地消を多く取り入れられないのか。

教育長 可能な限り地元の食材を使用することとしている。米は富津市産コシヒカリ1等米を、野菜類も富津市産のものを優先し、良質なものを地元業者から購入している。今後も地産地消に努める。

問 児童・生徒数の減少に伴い、

小中学校の統廃合の進め方は。

市長 学校の再配置は教育の問題であると共にまちづくりの問題でもある。現行の富津市小中学校再配置構想は、地域との合意形成を大切にしているものと考えている。

問 5年後の児童生徒数は。

教育部長 平成32年度には、小中学校全体で2471人で、現在より424人減となる見込み。

今年度の取組み課題 について

賢政会



平野 明彦
議員

問 今年度の取組み課題についてのうち、経営改革、事業仕分け、公共施設再配置整備計画については、経営改革プランに示される「持続可能な行政経営」をするための取組み事項である。まち・ひと・しごと創生総合戦略については、今後のまちづくりのベースとなる取組み事項と考えている。この4点について、具体的に質問しながら、現状把握に努めたい。

市長 経営改革会議で示した新たな中期収支見込みでは、収支はプラスに転じたが、真に財政危機から脱したとは言い難い。収支均衡を図った財政計画を策定したい。事業仕分けについては、来年度予算に反映させ、事業ごとに対応方針・検討結果を公表したい。

公共施設再配置整備計画は、現況をまとめた白書と総合管理計画の策定作業を進めている。今後は、各部門の個別計画を策定していく。創生総合戦略については、人口ビジョン・総合戦略を策定する。

今後、長期的ビジョン実現に向け、基本目標等を練り上げ、総合戦略を策定する。

問 市民の皆さんにはいろいろな



8月1日・2日に行われた事業仕分け
(2日の第2会場の様子)

面に参加し、考えてもらっている。市の政策を決める過程において、市民、行政、議会其々の関わり方、富津市の自治のあり方を模索していかねばならない。

今、行っている改革は、スタートライン。今後、総合戦略を核にしたまちづくりが始まる。その時、職員が市民の中に入ってまちづくりを一緒に進めていかなければならない。市民の中で合意形成を目指す手法を、試行できるチャンスでもある。職員間の合意形成、意識の共有化については、立ち止まっても行うべきではないか？

総務部長 トップマネジメント機能の確立と考えている。意思統一を図った上で職員一人一人が意識を持って進めていきたい。

*個人質問の時間は、質疑・答弁を含め1時間以内です。紙面の都合で僅かしか掲載できませんので、ぜひ議会傍聴にお越し下さい。
時間の都合のつかない方は、市役所1階の「行政資料コーナー」の会議録を、またはホームページ内で詳細をご覧ください。

歴史と文化の再発見



平野 英男
議員

問 富津市には明治時代に世界的に注目された技術で造った人工の島の砲台、東京湾第一海堡がある。文化庁による遺跡調査状況は。

教育長 平成16年2月に現地調査が実施されて以来、報告書刊行に至っていない。県では、文化庁に報告書の早期刊行の要望をしている。

問 5月に財務省、千葉県、富津市の職員が第一海堡へ上陸したが、その目的は。

教育部長 立入禁止看板の増設計画があり、現地状況の確認をした。問 以前は潮が引き地続きになると徒歩で渡り、釣り、キャンプ等したと話を聞くが、平成13年に何事もなかった島へ突然立入禁止看板が設置された理由は。

教育部長 軍事施設であったこと



富津岬の明治百年記念展望塔より望む、東京湾第一海堡

から、不発弾が残っている可能性がある。

問 5月に上陸した際、どういう装備で安全対策を講じたか。

教育部長 財務省の案内で安全な場所を通行しており、特段の装備はしていない。

問 安全宣言をして自由に上陸できれば、昔の様に釣りやキャンプ、景色を眺めたりすることと心の中に想い出として残る。千葉県と連携して、財務省に不発弾調査の働きかけはできないか。

教育部長 県と協議して検討してまいりたいと考える。

問 ゆくゆくは島を復元して文化財保護するか、行楽の場にするか楽しい議論がしたいが、市長の第一海堡の想い出と、富津市が世界に誇る歴史的遺産を、今後どう生かそうと考えているのか聞きたい。

市長 小学校低学年の頃、上級生に連れられ北側の斜面から上がり、何をしてもなく周りの海を眺めたり富津の方を観た。どう生かすかは、富津市の人達が築造に協力した歴史もあることから、近代遺跡として国の責任において管理、保存に努めて頂きたいと考える。

行政サービス・富津ブランドの観光振興化



佐久間 勇
議員

問 市長が思い描く行政サービスとは。また、市民ニーズを把握する情報収集の手段は。

市長 全ての市民が安全で安心して暮らせるように、子育て支援や防災対策、高齢化社会への対応を行うこと。情報収集は、市民アンケートや集会、創生会議や市民委員会の意見等を伺うことで把握。

問 各種会議や委員会等で得た情報が判断材料になるかも知れないが、声なき者の声、買い物弱者や災害弱者、情報弱者への対応は。

健福部長 買い物弱者への支援策として商品を届ける・出かけやすくする・店を造る、の3点が考えられる。情報弱者にはEメールや音声サービス、福祉支援として視覚・聴覚補助具の助成がある。

総務部長 災害弱者である単身高齢者や障害者手帳保持者などの情報として、要支援者名簿を作成。区長等からの請求により情報提供。

問 福祉対象者だけでなく、多くの弱者に対応する必要がある。思考はし尽くした。実行するための積極的試行は考えられるか。

市長 オン・デマンド交通や移動販売など、色々な先進事例がある

が、それぞれの機関で検討していかなければならない。弱者への対応は地元密接が必要で当事者の声を聞きながら進めてまいりたい。

問 市内の景観、食材はブランド化の要素がある。観光振興に結びつく取り組み事例は。

市長 生産物の付加価値を上げるため特産品開発に補助している。

建経部長 旅行エージェンツやフードライターを招き、体験観光でさる宿泊滞在型事業を実施し、PRしている。

問 富津のノリや農産物で、体験を含め、生産過程を認知できる一口オーナー制度はやれないか。

建経部長 近隣市にあるが本市にはない。漁協や農協に働きかけ、同様な取組が出来るか検討したい。



「買い物弱者をなくそう」
高齢者にやさしいまちづくり

*紙面の都合上、名称を以下のように省略します。
 健福部長（健康福祉部長） 建経部長（建設経済部長）

経営改革プラン（案） について

問 都市計画税の導入に向けての取組みは。

市長 都市計画税については、課税が出来るということで条例を制定している。今まで、主には下水道の共用開始等があるが、下水道事業のみに充当するという訳にはいかない。また、その都市計画事業についても、現在ストップしているものもあり、事業の計画、変更も含め考えていかなければならないと考えている。徴収するからには、都市計画事業を改めて見直しが必要なことから、都市計画事業等、見直しを含めて検討する。

問 都市計画税の金額に見合った改善策を考えているのか。

総務部長 都市計画税に変わるものとしては、正直な話、ない。そのほかのもので努力して、プラスにする為の業務改善を考えている。問 平成27年8月に説明した収支見通しだが、効果額は多少増えプラスに転じている。地方債も増加しているこの状況は、悪化していないのか。

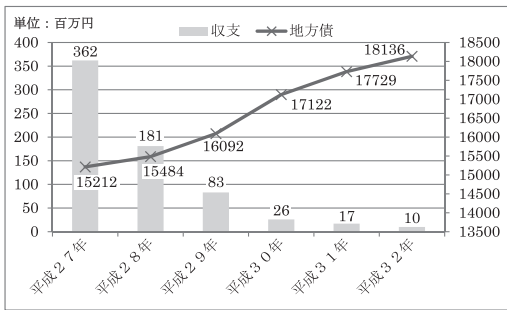
総務部長 収支見通しの状況から、収入が減っていく、起債が増えるということは、経営改革会議



岩本 朗
議員

の委員にも指摘されている。起債については、五条債と違って、事業を行う上での財源の中で考え、起債の額は、事業の内容によっても変わってくるという事で算定している。都市計画税については、実際に導入出来れば、財源となるのは確か。都市計画事業の選択、進め方を今後検討していく。

問 都市計画事業の見直し完了の時期は。
 市長 今、都市計画の見直しを行っているところで、それに合わせた形で都市計画税についても見直しをしていかなければいけないだろうというふうになる。



富津市中期収支見込み（平成28年～32年度）

国保税の引き下げ 経営改革会議

問 平成26年度の決算が決まり、国保加入者1人1万円引き下げる財源は十分ある。引き下げの決断はいかがか。

市長 現時点での引き下げは考えていない。

問 近隣4市の平成27年度の1人当たりの国保税額と、平成26年度決算の国保基金保有額は。

健福部長 表1のとおり

問 保険者支援制度が拡充され、今年度、国から1人当たり約5000円来ると言われている。富津市にはいくら来るのか。

健福部長

国保は、低所得者が多いという構造上の問題から、低所得者への保険料軽減分と保険者へ財政支援する保険基金安定制度がある。国は、平成27年度から、低所

【表1】国保税4市比較 (単位：円)

	2015(H27)年度 1人当たり国保税	2014(H26)年度 国保基金残高(貯金)
富津市	108,809	664,500,000
木更津市	98,690	1,016,000
君津市	92,749	61,060,000
袖ヶ浦市	88,936	0



松原 和江
議員

得者対策として、保険者支援制度を約1700億円拡充し、保険者に財政支援することになった。本年11月、保険基金安定額決定後、保険者支援分が決まる。現時点では、4574万円入る予定。

問 基金とこの国からくるお金を活用して、1人1万円の引き下げの決意は。

市長 保険者支援制度で入った額は、入った段階で検討していかなければいけないだろう。

問 「経営改革会議」について質問する。この答申では、「税の徴収率を上げなさい」と言っている。徴収率が低い理由をどのように分析しているのか。

市民部長 納税義務者の平均所得金額は146万9000円。県内市1位と比べ半額以下。近隣市と比べても、30万円から40万円低い。普段の生活が優先となり滞納に繋がるケースが多いと思われる。

問 資料を作った職員の残業手当は払われているか。

総務部長 基本的には時間内でやっていたのだと話しした。土曜、日曜のものは、時間外ではなく代休という措置はとった。

*個人質問の時間は、質疑・答弁を含め1時間以内です。紙面の都合で僅かしか掲載できませんので、ぜひ議会傍聴にお越し下さい。時間の都合のつかない方は、市役所1階の「行政資料コーナー」の会議録を、またはホームページ内で詳細をご覧ください。

18歳選挙権に向けて 公共施設の有効活用



藤川 正美
議員

問 来年の7月10日が参議院選挙の投票日と仮定すると、市内で該当する選挙人名簿登録者数は、

選管局長 4万1560人。うち、今回の選挙権年齢の引き下げによる18歳以上20歳未満の登録者数は、男473人、女397人、合計870人で全体の2.1%になる。

問 市内に2つの高校がある中で、高校生主体の「ことも議会」の開催をできないか。

総務部長 開催の予定は、無い。啓蒙については、選挙管理委員会と協議していきたい。

問 市民ふれあい公園の経緯は。

市長 昭和60年から6カ年をかけ、国・県などが181億円をかけ整備した緩衝緑地。その後、一般公募で「市民ふれあい公園」になる。

問 この周辺の水路に悪臭がするが、対策は。

建経部長 この新富水路に雑排水も流れているので、下水道組合と連携し働きかけたい。

問 この公園の素晴らしさが伝わっていないが、今後の課題は。

建経部長 認知度が不足。

問 富津市施設利用振興公社が管理している施設の特徴と魅力は。

建経部長 最大の特徴は、大きくて、ゆとりがあるところ。

問 この公社の職員数は。

建経部長 非常勤の事務局長1名、職員6名、臨時職員13名、計20名。

問 この施設を利用する時は、公共施設予約システムで申し込みを受けているが、この予約システムの評判は。

建経部長 個人・団体合わせて183の利用登録があり、約7割が市内の方。平成26年度は約4割、今年度は7月末で約5割の方が、このシステムで予約をしている。

問 平成23年度の決算成果説明書に「社会体育施設の改修計画を作成」とあるが、その後の経過は。

教育部長 公共施設等総合管理計画の作成に合わせ、検討したい。



海を見ながらウォーキングでき、その内側には広い芝生の広場がある「富津みなと公園」

平成27年度君津富津広域下水道組合議会 視察研修会報告

富津市からの下水道議員

議長 鈴木 幹雄
議員 平野 良一

平野 明彦
岩崎 剛久

佐久間 勇
十川 敬三

副市長 高橋 恭市
副管理者 佐久間清治

平成27年7月3日

視察場所

埼玉県熊谷市三ヶ尻

太平洋セメント(株)熊谷工場

君津富津広域下水道組合から発生する脱水汚泥の搬入先として、再資源化を図っている太平洋セメント工場の現場を視察しました。

富津市から副管理者の佐久間市長、平野良一議員、平野明彦議員、佐久間勇議員、



十川敬三議員が参加。

東京湾からの燃料搬入は距離的にデメリットだったが、原料産出地からの距離や関東平野がセメントユーザーに近いこと、巨大市場である首都圏近郊は最大の利点となった。さらに、800℃、2分間でダイオキシンが分解されることから、廃タイヤ、廃プラスチック、廃油等のリサイクル燃料が使えた。また、リサイクル原料としては建設残土や汚泥、都市ごみ焼却灰といった産業廃棄物が活用でき、メリットが増大。環境に配慮した、リサイクル重視のセメント工場の視察研修ができました。

◆全員協議会

※会議録より抜粋（質問概要）
詳細は議会図書室で閲覧できます。

平成27年8月28日

出席17名全員

協議事項

(一) 経営改革について
執行部より富津市経営改革プラン（案）について、中期収支見込について、都市計画税の課税について、富津市経営改革プラン実行計画（素案）についての説明を受け、その後質疑を行った。
松原和江議員 実行計画、目標管理制度・人事評価結果の活用と書かれているが、評価の良かった人の給料を上げるとか、少なかった人の給料を下げるという事ですか。

(二) 平成27年度富津市事業仕分けの判定について
平成27年度富津市事業仕分け判定結果について説明を受け、その後質疑を行った。

渡辺務議員 賢政会で何年前に行政府評価の制度を提案した。外部評価委員を含めての事業評価これを検討しないで事業仕分けに移った経緯を伺う。
渡辺務議員 事業行政評価を内部評価でやったが、それを外部評価にしなかった、ただ事業仕分けを行った、そこに至る経緯について何かありますか。

佐久間勇議員 仕分け人で不要凍結となった事業が現行通りとなった説明をお願いします。どうして要改善になったか。
平成27年8月28日（議員のみ）
出席16名、欠席1名

協議事項

(一) 議会報告会について
議会報告会実行委員会委員長より

実行委員会の報告と今後のスケジュールの説明を受け、その後質疑を行った。
佐久間勇議員 回覧の方法については。

平野英男議員 10月の回覧では組によつては止まる組もあるが。
藤川正美議員 9月の区長回覧と10月の広報ふつにつに載せる方法が良いと思うが。
小林新一議員 藤川さんが言う通り9月が良いと思う。

(二) 決算審査特別委員会について
議長より決算審査特別委員会の委員選出について説明を受け（議長と議会選出監査委員を除く15名）協議の結果、議員より異議なく15名に決定した。

平成27年9月8日（議員のみ）
出席15名、欠席2名

協議事項

(一) 富津市議会会議規則の一部を改正する規則に制定について（P3 議員発議）
事務局より説明を受けその後質疑、意見集約を行った。

平野政博議員 出産に伴う会議及び議会の欠席は女性だけか、育休が認められているが男性議員に当てはまるか。
十川敬三議員 この文だけでは分かりづらいので女性と明記するべきでは、奥さんの出産で配偶者が産休を取る事も有る訳ですよね。

石井志郎議員 今までは出産も事故扱いとなっていたが、出産が事故ではおかしいという事で出産と明記された訳ですよね。
佐久間勇議員 議員の奥さんが出産する場合の立ち合い出産の場合は。
(二) 非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について（P3 議員発議）

事務局より説明を受けその後質疑、意見集約を行った。
十川敬三議員 監査委員報酬は支給しなければいけないと決められていると聞き及ぶが、その事をお聞きしたい。
松原和江議員 その法律を持つてきて皆さんに説明したらいかがですか。
鈴木幹雄議長 いつから執行するか。
永井庄一郎議員 この条例は直ちに執行するべきと思うが。
岩崎剛久議員 発議案の提出者は小林新一議員、福原敏夫議員、平野明彦議員、高梨良勝議員の議長経験者4名で良いのでは。
永井庄一郎議員 平野明彦議員は当事者なので外した方が良いのでは。
松原和江議員 議長経験者が良いのでは。
石井志郎議員 小林新一議員、福原敏夫議員、高梨良勝議員の3名でよいのでは。
鈴木幹雄議長 提出者と賛成者をいかがしますか。
岩崎剛久議員 さっきの年長議員からでしょう。
石井志郎議員 提出者には高梨良勝議員が良いと小林新一議員と福原敏夫議員が言っていますが、それで良いのでは。
(三) 甲州市との交流について
議長より今後の甲州市との交流事業について説明を受け、その後質疑を行った。
石井志郎議員 富津市が色々な事業を止めようとしているのが議会が市に追従する事はないのでは。
永井庄一郎議員 代表者会議で出た話の内容は、やった方が良くとか止めた方が良くとか。
石井志郎議員 市長と議長が訪問すると聞きましたが、その前に市長の考えを聞く必要があるのでは。
松原和江議員 甲州市とは災害協定とか結んでいるか。

事務局より説明を受けその後質疑、意見集約を行った。
十川敬三議員 監査委員報酬は支給しなければいけないと決められていると聞き及ぶが、その事をお聞きしたい。
松原和江議員 その法律を持つてきて皆さんに説明したらいかがですか。
鈴木幹雄議長 いつから執行するか。
永井庄一郎議員 この条例は直ちに執行するべきと思うが。
岩崎剛久議員 発議案の提出者は小林新一議員、福原敏夫議員、平野明彦議員、高梨良勝議員の議長経験者4名で良いのでは。
永井庄一郎議員 平野明彦議員は当事者なので外した方が良いのでは。
松原和江議員 議長経験者が良いのでは。
石井志郎議員 小林新一議員、福原敏夫議員、高梨良勝議員の3名でよいのでは。
鈴木幹雄議長 提出者と賛成者をいかがしますか。
岩崎剛久議員 さっきの年長議員からでしょう。
石井志郎議員 提出者には高梨良勝議員が良いと小林新一議員と福原敏夫議員が言っていますが、それで良いのでは。
(三) 甲州市との交流について
議長より今後の甲州市との交流事業について説明を受け、その後質疑を行った。
石井志郎議員 富津市が色々な事業を止めようとしているのが議会が市に追従する事はないのでは。
永井庄一郎議員 代表者会議で出た話の内容は、やった方が良くとか止めた方が良くとか。
石井志郎議員 市長と議長が訪問すると聞きましたが、その前に市長の考えを聞く必要があるのでは。
松原和江議員 甲州市とは災害協定とか結んでいるか。

佐久間勇議員 塩山市と姉妹都市から甲州市と友好都市となった、観光協会、商工会も交流事業がないと聞くと。
石井志郎議員 議会としてみれば、今後も交流事業を続けられればという意見とありますが。
岩崎剛久議員 行政を含めた全協開催をという形に持っていきたくはな小川新一議員 執行部と議会が一体にならないと言っても議会は何らかの形でも続けると決めて、市長と協議するべきと思うが。
岩崎剛久議員 我々議会はまず市長の考えを確認しておかなければいけない。
以下協議会は議事録が間に合わないため次号に掲載予定です。
平成27年9月24日
出席16名、欠席1名



9月定例会中に3回開催された「全員協議会」

協議事項

(一) 富津市人口ビジョン2040素案について

(二) 経営改革について
富津市公共施設白書について
株式会社かずさクリーンシステム 操業期間延長について
(五) 君津地域水道事業統合広域化基本計画（素案）について
(六) 甲州市との交流について
平成27年9月24日
出席16名、欠席1名

協議事項

(一) 議会報告会について
議会報告会について



9月10日に教育福祉常任委員5人が、天神山小学校を視察しました。児童と一緒に給食を試食後、3・4年生の複式学級の授業を参観しました。



9月18日に市役所ホールにおいて、「秋の全国交通安全運動」に伴う出動式が行われ、鈴木議長並びに渡辺教育福祉常任委員長が出席しました。



9月24日に市役所大会議室において、「公共施設マネジメント講演会」が開催されました。各市議会議員が出席し、公共施設・インフラの更新問題について研修を行いました。



10月3日に当市の友好都市山梨県甲州市で「第62回甲州市かつぬまぶどうまつり」が開催され、鈴木議長、石井副議長、渡辺教育長(市長代理)がお祝いに伺いました。



10月4日に市役所ホールにて「第46回芙蓉展席書大会」が開催され、鈴木議長が出席しました。学生の部(幼・小・中)の優秀作品に「富津市議会議長賞」が授与されました。



議会活動の見える化を図るため、10月20・22・23日に、市内3会場において、「議会報告会」が初めて開催されました。(詳細は次号で報告します。)

ぜひ、議会傍聴に！

12月定例会日程

11月27日(金)	10時	開会
12月3日(木)	9時30分	議案の上程
4日(金)	9時30分	一般質問
7日(月)		予備日
8日(火)	10時	議案質疑
9日(水)		常任委員会
10日(木)		常任委員会
11日(金)		常任委員会
16日(水)	10時	議長報告 議案審議 閉会

12月の議場コンサートは、3日の午前9時から予定しております。出演は天羽東中学校の生徒の皆さんです。※日程は変更になることがありますので、議会事務局(80・1331)へお問い合わせください。

【ひびやき】

富津市を元気にするための総合戦略が今年度中に策定されます。国の総合戦略では、人口の東京一極集中を是正するため地方への人の流れを作り、若者の雇用を30万人創出するとし、さらに若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶えるとの目標を掲げました。

千葉県の総合戦略では、東京オリンピック・パラリンピックを契機とした「世界中から人々がやってくるC H I B A」づくり、を目標として掲げました。富津市版総合戦略でも、夢と希望に満たされた目標が望まれます。

(ひでお)